



平成 29 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ティビィシイ・スキヤット
代 表 者 代表取締役社長 安田 茂幸
(コード番号：3974 東証 J A S D A Q)
問 合 せ 先 常務取締役 古澤 誠一
経営管理本部長
(TEL. 03-5623-9670)

平成 29 年 10 月期第 1 四半期連結業績（補足説明）に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 10 月期第 1 四半期（平成 28 年 11 月 1 日から平成 29 年 1 月 31 日）の連結業績について、本日公表の実績値について、下記のとおり補足説明いたします。

記

当第 1 四半期連結累計期間における当社グループは、企業価値向上のため主要となる美容サロン向け ICT 事業への費用投下と、株式公開に伴う一時的な費用計上を行ったことにより、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上いたしました。

(1) 美容サロン向け ICT 事業

当第 1 四半期における美容サロン向け ICT 事業では、大きな季節変動要因ではありませんが、毎年 12 月及び 1 月は、当セグメントの主要販売先である美容サロン及び美容商材ディーラーの繁忙期にあたり、販売商品の納品が先送りになる傾向があります。さらに、当第 1 四半期は、美容ディーラー向け商品の販売が、独自機能追加のカスタマイズにより、納品サイトが伸びております。

また、既存顧客の買替は、予算作成時ではリース期間満了予定等を基にした買替見込みを販売拠点毎にリスト化し、各営業担当者が顧客からヒアリングした結果を積み上げて売上を算出しておりますが、第 1 四半期対象数の進捗は、年間平均進捗率より低めの傾向となっております。

当事業は株式公開を機に「成長への挑戦－ユーザー 1 万店構想」をかかげ、システム開発への中長期的投資やアライアンスビジネス、宣伝広告の強化等を積極果敢に推進しております。

(2) 中小企業向けビジネスサービス事業

当第 1 四半期における中小企業向けビジネスサービス事業では、中小企業者への経理代行等の会計サービスは、既存顧客を中心に業績も確保しており、第 2 四半期に向けて堅調に推移しております。

しかし、前期（平成 28 年 10 月期）に行った損失事業からの撤退に伴う再構築コストにより損失計上となっております。

(3) 介護サービス事業

当第 1 四半期における介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームを 3 施設（栃木県佐野市、群馬県館林市、長野県小諸市）を運営しており、各施設への入居率の向上に取り組み、安定した収益を確保しております。

第 1 四半期では、インフルエンザの流行や厳しい寒さが続いたことにより、入居者の入院及び逝去による退去が例年を上回り、一部施設の稼働率が低下し、第 1 四半期の業績に影響がありました。しかし退院による帰所や新規入居者により規模の大きい 2 施設でほぼ満室が見込まれ、第 2 四半期に向けて順調に推移しております。

以 上